

## 日本ファシリテーション協会のシンポジウム

毎年、5月末の土日で開催されています、NPO法人日本ファシリテーション協会（FAJ）のシンポジウム。今年は九州の博多で行われました。2日間の参加者数は230名だったそうです。今年は事例報告が24件。多様性に富んだ内容でした。

### ☆シンポジウムの内容は

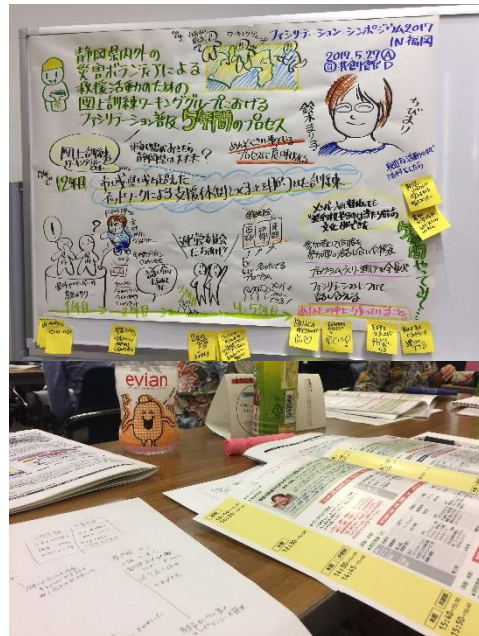
事例報告とファシリテーション力測定（試みです）を中心に基調講演が主な内容です。その後、NPOの総会があります。

今年の基調講演は、ID（インストラクショナル デザイン＝教え方の技法）の熊本大学の鈴木克明先生で、IDとファシリテーターの差異などについて楽しいお話がありました。

### ☆もう一つの企画

2日目の朝、スペシャル企画として、お隣の熊本県でのファシリテーション協会の活躍の話を聞きました。3.11の際、話し合いの場をお手伝いしてきた体験を活用して、熊本県嘉島町でお手伝いした様子です。嘉島町の係長も参加してくださいました。

嘉島町で一番大所帯の避難所を担当した係長と課長は、避難所のお世話で手いっぱいではなかなか復興にむけた業務をできなかったとのこと。住民はやってもらって当たり前になってしまい、御用聞きのような状態だったそうです。そこへFAJのメンバーが行き、避難所の代表、副代表と対話をして組織をつくり、住民の自主的な運営に移行していく経過を教えてくださいました。



### ☆緊急の時だからこそ、ファシリテーションが役立つ！

話し合いを記録する（FG）、思いを言葉にして発する、発しやすい雰囲気・プロセスを考え実行するなど、ファシリテーションのスキルと言われてきたものが、必要とされた場面だったようです。そして、目標に向けて話し合うことはとても気持ちのいい事だとおっしゃっていたことが印象的でした。

現在でも復興に向かって関係各部署と調整しながら進んでいるそうです。一日も早い復興をお祈りしています。

☆いざ、というときに本当にお役にたつファシリテーションを確認できた時間でした。これからも、弊社としてできることを粛々としていこう！と思いました。